

# 看護だより

KANAGAWA

Vol.170  
2016年9月



公益社団法人  
神奈川県看護協会

〒231-0037 横浜市中区富士見町3番1  
神奈川県総合医療会館内  
TEL.045-263-2901(代) FAX.045-263-2905  
http://www.kana-kango.or.jp/

平成28年度 会員数 34,930人

(平成28年7月22日現在)



▲かがやき訪問看護 ST (藤沢)のスタッフ一同



あかしあ訪問看護 ST (茅ヶ崎) 朝のカンファレンス



おおいそ訪問看護 ST (大磯) 訪問看護に出発!



洋光台訪問看護 ST (磯子区) 訪問看護の実際  
利用者さん宅で

▼おおいそ訪問看護 ST の  
スタッフ一同



▲訪問看護記録を書きながら、スタッフ同士の  
情報交換(かがやき訪問看護 ST)



## CONTENTS

- ◆健康ひろば「レビー小体型認知症患者のケアの仕方」…………… 2～3
- ◆インタビューに答えて「訪問看護は楽しい!」…………… 4
- ◆目からウロコのお役立ち情報「東洋医学(鍼灸編)」…………… 5
- ◆特集「動物介在療法ってご存知ですか? 勤務犬ミカの活躍」…………… 6～7
- ◆平成28年熊本地震 支援活動を終えて …… 8
- ◆理事会報告/私のヒーリングタイム …… 9
- ◆平成28年度通常総会開催 …… 10
- ◆平成28年度役員紹介/委員会名簿 …… 11
- ◆平成27年度事業報告/貸借対照表/正味財産増減表/財産目録 …… 12～23
- ◆こんにちは事務局です/表紙の写真/編集後記…………… 24

### 【今月の表紙】

公益社団法人神奈川県看護協会 訪問看護ステーション

かがやき・あかしあ・おおいそ・洋光台

→施設の紹介は24ページに掲載しています



# レビー小体型認知 症患者のケアの仕方

## ～病態によって違う 症状とかかわり方～



特定医療法人社団 鵬友会  
横浜ほうゆう病院 老人看護専門看護師  
村山 由子

認知症は一つの疾患ではなく、70以上の基礎疾患を原因として引き起こされるといわれています。1)そして、その基礎疾患によって、経過は異なります。50%以上をアルツハイマー型認知症が占め、ついでレビー小体型認知症が15～20%を占めるといわれています。2)

「KANAGAWA看護だより」165号では、最近注目されてきた「レビー小体型認知症」の原因と病態について説明しましたが、今回は、この病気の患者さんのケアの仕方についてお伝えいたします。

### 認知症高齢者の看護ケアの原則 3)

- 原則 1 「その人らしさ」を尊重する。
- 原則 2 「できること」に働きかける。
- 原則 3 身体疾患や不調を見のがさない。

とても大切な考え方なのですが、意外とできていないということがありませんか？「認知症の人だから、話をするのは家族に」「言っても返事がないし」などと考えて患者さんへの説明がないがしろにされていませんか？言葉にできないことや反応として返ってこないことで省略しないで、ご本人の分かる範囲でよいので説明してほしいのです。車椅子の後ろからいきなり声をかけてしまう、嫌がるからとお風呂に無理やり連れて行ってしまふことなど、自分だったらどう思うのかを考えていただけたらと思います。

### レビー小体型認知症の方のケアについて 4)、5)

レビー小体型認知症のことについてだいぶ知られるようになってきています。一般にBPSD（行動・心理症状）の症状といわれる幻視や妄想、抑うつ症状が中核症状となるのです。周囲の者は突然、幻視を訴えられたりしますので、びっくりしてしまいますが、この認知症の特徴なのです。そのため、うつ病や統合失調症に誤診されることも多くあります。

ここでは代表的ないくつかの症状と対応について書いてみたいと思います。

#### 記憶障害は目立たない

レビー小体型認知症の方は意外としっかりしている事が多いです。

対人関係には注意が必要であり、きちんと説明し、了解を得ることが大事になります。一日の中で、調子のよいときと悪いときがありますので、調子のよいときに話をすると理解されることが多いようです。

自分自身の意思の確認ができる人もいます。例えば、「胃ろうの造設に対する気持ち」も表現できるというようなことです。そのため、あなたは分からないではなく、一個人としてきちんと対応していくことが必要と考えます。

#### 幻視・視覚の異常

『ありありとした幻視』が見えるといわれます。実際、窓の外には誰もいないのに警察が来ているとか、カーテンレールが落ちてきそうだからベッドの上でいすを置いて押さえたなどさまざまなエピソードがあります。

いろいろなものや人がリアルに見えることがあります。またゆがんで見えることもあるようです。そのため、廊下に光が当たっている部分を見て、水があるように見えたり、コップの水が、光の屈折で魚が泳いで見えたりもするようです。

このような時は、基本は否定も肯定もせずということが教科書的な答えですが、相手との信頼関係ができてい

るときは、「私には見えないのですが、〇〇さんには見えているのですね」と答えるときもあります。また、おまじないも時には利きますし、夜であったら電気をつけて明るくするというのも有効となります。コップの中に魚が見えたときには、視覚を遮断して、蓋付きのコップを使用し、ストローで飲んでいただくことで解決できました。



#### レム睡眠行動障害

寝入りばなに大きな声で叫ぶ、寝言を言う、手足をばたつかせるということが症状として現れます。自傷等の危険性が高く長引くようであれば、明るくしてしっかり目を覚ましてもらうことが対応としては必要となります。

#### パーキンソン様歩行

足の運びがぎこちなくなります。また、一日のうちで動き方に変動があります。そのため、環境を整えていき転倒を防ぐことが大事になります。履物も脱げにくいものにするか、カーペットやマットなど敷物は使用しない。床からの立ち上がりよりは、いすやベッドからの立ち上がりのほうが簡単になってきます。

#### 薬剤過敏性

お薬に対して非常に過敏な方がいます。通常の服用量でもお薬が効きすぎたり、症状が悪化することがあります。抗精神病薬で症状が悪化することや副作用が出ることもあるため、お薬を変更したときなどは特に注意が必要になります。

#### 自律神経障害

突然血圧が上がったり、下がったりすることがあります。そのために、立ち上がり時に立ちくらみを起こして転倒につながります。血圧の状態にあわせた対応が必要となります。また下痢や便秘にもなりますし食欲不振や手足の冷えなど、身体的な症状にも気を使っていくことが必要となってきます。

- 1) 平原佐斗司編著:認知症ステージアプローチ入門、p9、中央法規
- 2) 小阪憲司:認知症の防ぎ方と介護のコツ、p47、角川マーケティング
- 3) 北川公子他:系統看護学講座老年看護学、p317、医学書院
- 4) 前掲書2)
- 5) イーローゴネット: <http://www.e-65.net/>



「KANAGAWA看護だより」は、神奈川県看護協会ホームページからご覧いただけます。  
アドレス: <http://www.kana-kango.or.jp/magazine/>



# 訪問看護は楽しい!

今月の表紙で公益社団法人神奈川県看護協会が運営する4か所の訪問看護ステーションを紹介いたしました。ここでは、それぞれのステーションで活躍するスタッフの方々にインタビューに答えていただきました。

## 質問内容

- 1 看護協会に就職する前は?
- 2 訪問看護師を目指したきっかけは?
- 3 訪問看護師として働いてみて嬉しかったこと、魅力、楽しさなどについて教えてください。
- 4 これから訪問看護師を目指す方に一言 PR

- 1 公立病院に勤務していました。
- 2 以前から興味がありましたが、知り合いの訪問看護師の方に勧めていただいたのがきっかけです。
- 3 訪問先で工夫しながらケアを行っていくので看護技術を磨くことができたと思います。利用者さんが生き生きとされていて、自宅で過ごす大切さを再認識しました。このような経験は訪問看護ならではの実感しています。
- 4 利用者さん一人だけに、ゆったりとした時間の中で、その人らしさを大切にしていける訪問看護は、看護の魅力がたくさんつまっています。



かがやき訪問看護ステーション(藤沢市) 臼井 晃子さん



- 1 病院の幼児外科病棟に勤務していました。
- 2 同窓会で会った同級生の看護師が訪問看護をしており興味を持ちました。
- 3 利用者さんと長くお付き合いでき、経過がゆっくりみられること。利用者さんやご家族とゆっくりコミュニケーションがとれる時間があることが嬉しいです。
- 4 さまざまな疾患の利用者さんがいて看護の幅が広がると期待しています。プランクが7年程ありましたが楽しく働いています。ぜひ飛び込んでみてください。

遠藤 量子さん あかしあ訪問看護ステーション(茅ヶ崎市)

- 1 内科クリニックに勤務していました。
- 2 自宅での医療行為に興味があったためです。
- 3 利用者さんの症状が軽快して元気になった時や、「安心します」と言ってくださる時が一番嬉しいです。入浴介助はとても体力を使いますが、利用者さんに「サッパリした」と言っていただくと疲れが吹き飛びます。色々な方に出会います。一人ひとりのドラマがあって、その方の話を聞くのが楽しいです。
- 4 人生の喜怒哀楽に触れ、看護の奥深さが味わえますよ。



おいそ訪問看護ステーション(大磯町) 丹羽 いずみさん



- 1 大学病院のICU病棟に勤務していました。
- 2 働く曜日や時間、日数等を考慮してもらえるため。
- 3 自分の働けるペースで勤務ができるので、仕事と家事・育児などを両立出来るのが嬉しいです。ステーションはアットホームで働きやすい環境です。短時間の中で利用者さんについて皆で意見を交わしケアを考えることも素晴らしいと思います。
- 4 病院では見られなかった患者様の在宅での生活が分かり、看護の視野が広がると思います。

郷津 亜起さん 洋光台訪問看護ステーション(横浜市磯子区洋光台)

## 目からウロコのお役立ち情報

今回のテーマは...

## 東洋医学(鍼灸編)

このコーナーでは、皆さんの生活に役立つ、とおきのお情報を提供します。今回は、「東洋医学(鍼灸編)」について、東海大学医学部附属大磯病院 薬剤師・鍼灸師高士将典先生にお聞きしました。



鍼治療

## 吐き気や痛みの緩和に効果



### 鍼灸の歴史

鍼灸というと「痛い・怖い」などのイメージがあります。これは藤枝梅安(池波正太郎の娯楽小説)の影響です。

鍼灸は、1500年以上前に中国から伝来した医学です。そのため大宝律令(701年)に鍼灸師の教育は7年間と記載されています。その後、鍼灸は我々ご先祖様の健康に関与してきました。江戸時代に入り、徳川綱吉の命で鍼灸講習所(国立の鍼灸学校)が造られました。明治維新後は医療から外れ、細々と行われていました。そして1992年に鍼灸師は国家資格となりました。

### どんな疾患に効果があるの?

近年では、WHOやNIH(米国国立衛生研究所)などが適応疾患リストや有用な疾患の声明がされました。

そのNIH 声明では、「Clear Evidence(明確な証拠)」として評価されたものは、成人の手術後と化学療法時の吐き気と嘔吐、および妊娠中の悪阻(つわり)があります。「Evidence of Efficacy(効果的な)」として評価されたものには、歯科手術後の歯痛があります。

「Reasonable Studies(適度な)」として評価されたものには、月経痛、テニス肘、結合組織炎(線維性筋炎)、のような種々の疼痛等があります。

### よく質問されること

#### 1. 鍼はなぜ効くの?

鍼治療は疼痛の緩和によく効くといわれています。そのメカニズムとしては、鍼刺激により脳内モルヒネのような痛みを緩和する物質が産生され、痛みを伝える神経に働いて感じにくくされると言われています。

#### 2. 鍼治療の副作用について

鍼治療の副作用には、治療後の疲労感や倦怠感、内出血などがあります。疲労感や倦怠感は、体が刺激に対して過敏な場合や刺激量が多すぎる時に起こります。これは一時的なもので、休んでいれば取れます。

また血が止まりにくい方や年齢的に血管がもろくなっている方では、まれに小さな内出血を起こす場合があります。実際の治療では、目で見える血管を避けて刺激し細心の注意を払いますが、避けられない場合もあります。そのような場合は1週間くらいで自然に吸収されますと説明をします。

#### 3. 鍼治療は痛いですか?

チクッとした感覚はあります。治療用の鍼はとても細く、針先が痛みを起こしにくい形になっています。注射の時のような痛みはありません。しかし、感じる痛みには個人差がありますので、痛い時には遠慮なく鍼灸師に伝えてください。



鍼治療に使われる鍼



勤務犬ミカです。  
よろしく!

## 動物介在療法ってご存知ですか?

# 勤務犬ミカの活躍



聖マリアンナ医科大学附属研究所  
プレスト&イメージング  
先端医療センター附属クリニック  
看護師長 佐野政子さんとミカ

聖マリアンナ医科大学病院では、2015年4月から本格的に「勤務犬」を導入、触れ合いを目的とした動物介在活動（AAA）と、治療上の補助療法である動物介在療法（AAT）の2つを実施しています。

広報出版委員会では、実際に勤務犬の勤務の様子を見せていただくと同時に、この活動でハンドラー<sup>※1</sup>をされている看護師長の佐野さんとスタッフの方々にお会いし、熱い思いを聞くことができましたのでお届けいたします。

### 「動物介在療法」(AAT)とは

「AAT」(Animal Assisted Therapy) は「AAA」(Animal Assisted Activity) が癒しなどの情緒面の安定を求めるのに対し、セラピー＝癒しではなくあくまで治療上にある補助療法です。医師の指示で、触れ合いや交流を治療に取り入れることによって情緒的安定を図り、QOLを高めていきます。

闘病意欲の低下から自分で動けなかった患者さんや、不安や治療拒否のある患者さんなど、情緒的安定を求めるものが多くありました。どの場合でも治療であるため、看護計画に沿って「AAT」を行い、記録に残し「ミカ」とのかかわりを通しての変化を評価することを続けています。

「看護師がハンドラーを担うメリットは、病棟看護師と連携が取りやすいことです。動物介在療法を行う上で環境調整はとても重要で、コミュニケーション力や医療チームの調整役として看護の役割が期待されています。ミカと一緒に医療チームの一員として動物介在看護を実践していきたいと思えます」と佐野さんは話されていました。

### 勤務犬ミカのプロフィール

スウェーデン育ちのスタンダード・プードル(オス)で「社会福祉法人日本介助犬協会」から貸与されています。もともとは、日本介助犬協会のPR犬として活躍していました。普段はハンドラーである佐野さんの家で暮らし、週2回勤務犬をしています。ミカのお世話はご家族も協力してください。

### 動物介在療法を始めようと 思ったきっかけ

佐野さんは、小児病棟で働いていた時に出会った中学生の女の子がきっかけであると話されていました。女の子はパピーウォーカー<sup>※2</sup>を引き受けて間もなく入院となってしまう、「犬に会いたい」とよく話していました。

テレビでファシリテッドッグ(施設犬)の事を知った女の子が小児医療施設に手紙を出したところ、特別に出張で会いに来てくれたのです。犬に会えた女の子は泣いて喜びました。その姿に、周囲の方たちに笑顔が戻りました。

その時、犬の力のすごさをあらためて感じ、やはり病院には動物とのかかわりが必要だと考えたことがきっかけとなったそうです。



小児病棟のプレイルームで行われる動物介在活動(AAA)に子どもたちがやってくるのを待っているミカ

※1 ハンドラー：犬が任務を遂行するよう訓練する人  
※2 パピーウォーカー：盲導犬の候補を育てるボランティア

### 導入までの準備と勤務犬の誕生

はじめは、院内に犬を迎えることが本当にできるのか不安があったそうですが、もともとトップダウンではなくボトムアップで、職員の提言を検討していただける病院の風土が後押ししてくれたそうです。

賛同する小児科・小児外科の医師らと共に、計画的に活動を始め、日本盲導犬協会、日本介助犬協会の協力を得て、訪問活動をスタートしました。実際に毎月1回、2年間で53病棟を回することで、病院に犬がいることが当たり前になるように働きかけ、職員・家族合わせて2,024名の賛同を集めたとのことでした。

佐野さんはハンドラーとなるため、介助犬総合訓練センターで研修を行い、院内でのプレテストを含め約4か月の研修を受けたそうです。そして、ミカの活動が受け入れられ、いよいよ勤務犬の誕生となりました。

### ミカと子どもたちのふれあい

小児病棟の動物介在活動(AAA)におじゃましました。ミカがプレイルームにいると子どもたちが集まってきました。初めは遠巻きに眺め、少しずつ距離を縮め、ミカに触れると笑顔が見られました。レクリエーションとして触れ合いを楽しむ時間だとあらためて感じる事ができました。別れを惜しみ、「また来週」と手を振っている姿が印象的でした。

### ミカと患者さんの印象的なかかわり

病棟でのミカと患者さんとの関わりで印象的な場面について、スタッフの方々にお聞きしました。

新口さん：犬好きの人にとって、愛犬に会えないストレスは大きいようです。人は面会できますが犬は来ることができないので、何がしたいかを聞くと犬に会いたいと言います。そんな時、ミカに触れることで前向きになっていると感じることもあります。すべての人に効果があるかといったらわかりませんが、実際に関節の可動域が広がったケースもあり導入は良かったと感じています。

杏岐さん：私が受け持った患者さんは、首から下がほとんど動きませんでした。ミカに会って笑顔が見られるようになり、ミカと車いすで散歩に行くことを目標にしました。そして、ミカと車いすで散歩に行ったときは「生きてよかった」と言いました。その後に、ミカと遊ぶためにボールを投げる練習をし、ミカのリードを握って散歩するまでに回復した患者さんを見て、犬の力ってすごいなと思いました。

### インタビューを終えて

人では果たせないこと。ミカだからできる、自然に人の心に入り込み、悲しみやつらさを癒し、元気をくれます。取材中、廊下ですれ違うスタッフも「ミカ!」と声をかけ、「ありがとう」という医師もいました。病院全体で理解され、またとても愛されていると感じました。

どの病院でもできる事ではないかもしれませんが、佐野さんがおっしゃるように、少しでもこの活動が広がってほしいと思います。

(広報出版委員会 神保京美 井出弥生)



▲病棟の看護師(左から新口さん、杏岐さん、神山さん)とも仲良しです

# 平成28年熊本地震 支援活動を終えて

災害支援ナース 小田原市立病院 長瀬 聖悟

平成28年5月5日(木)、発災21日目、熊本県上益城郡嘉島町 町民体育館に入りまして。そこでは生後8ヵ月の乳児から90歳以上の高齢者約420名が、1人につき畳1畳余りのスペースに身を寄せ合いながら生活していました。また自らも被災したにもかかわらず、避難者生活を支える為に昼夜を問わず活動する職員が頑張っていました。

ライフラインの復旧や支援物資で、最低限の生活を営む環境は確保されていましたが、夜間の咳の訴えや清潔意識の低下が招く肺炎の恐れ、活動量が低下した避難生活で支援物資の高カロリーな食事摂取が招く糖尿病、高血圧症等の悪化、プライバシーに配慮される反面、段ボールで仕切られた空間で孤立しかねない高齢者、昼夜を問わずゲームに没頭する子供たち等、健康状態悪化に対する懸念は日を迫る毎に増加していました。常備されていた市販薬や血圧計体温計等では、避難者ニーズの充足は図りにくい現状でした。このような状況下で自分達に何が出来るのかを考え、意図的に声をかけ体調変化を察知し、医療受診に繋げたり、震災の話に耳を傾けることで精神的安寧を図ったりと、寄り添う看護活動が主となっていきました。

4日間の活動を終え、避難者の生活の礎になったのか不安を募らせながら、後ろ髪を引かれる思いで熊本を離れました。後日被災者より「居てくれて安心して」と、声をかけられた後発ナースの話聞き、無事支援のたすきが繋がれたのだと安堵の気持ちで胸がいっぱいになりました。

熊本の皆さんが1日も早く元の生活に戻れるよう、お祈りいたします。

避難所となった嘉島町 町民体育館  
画像提供：熊本県上益城郡嘉島町役場総務課



## 神奈川県看護協会 平成28年熊本地震 災害支援ナース活動実績

活動期間/平成28年  
5月5日～6月1日  
派遣者数/28名  
活動場所/西原村立山西小学校  
嘉島町町民体育館  
益城町公民館 飯野分館  
特養シルバーピアさくら樹

## 理事会報告

第1回 | 平成28年5月21日(土)

第2回 | 平成28年7月2日(土)

### 審議事項

1. 平成29年度神奈川県への行政要望について 承認
2. 平成28年度総会運営について 承認
3. 平成28年度役員改選候補者(案)について 承認
4. 平成27年度事業報告(案)について 承認

### 協議事項

1. 平成27年度収支決算報告(案)及び監査報告
2. 会員入会の承認について

### 報告・連絡事項

1. 日本看護協会理事会(5/13)
2. 平成28年度日本看護協会通常総会代議員研修会について
3. 認定教育課程、学会、研修等について
4. 「かながわ看護フェスティバル2016」実施結果
5. 看護師等の離職時等の届出制度 神奈川県届出状況
6. 平成28年度看護協会職員体制について
7. 「平成28年熊本地震」に関する当看護協会の対応について

### その他

1. 第18回神奈川看護学会への協力委員のご推薦について

### 報告事項

1. 10月の理事会(29年度事業計画案)について
2. 6月総会 実施報告について
3. 平成28年度 事業説明会について
4. 日本看護協会総会の出席状況について
5. 平成27年度神奈川県看護協会会員 支部別、施設別入会状況
6. 認定教育課程・研修・学会等について
7. 日本看護協会の見学について
8. 看護フェスティバル2016協賛金について
9. 平成28年度かながわ訪問看護ステーション一覧について
10. 財務三基準及び公益目的取得財産額ならびに平成27年度決算確定に伴う平成28年度収支予算の変更について
11. 他団体関係報告
  - 1) 神奈川県病院学会について

### その他

1. 事務局からの連絡事項
  - 1) 県民のための講演会
  - 2) 会員交流会
  - 3) 洋光台訪問看護ステーション移転について
2. 神奈川県看護協会事業案内パンフレット作成について
3. 理事会緊急連絡網

## 6/22(木) 平成28年熊本地震 災害支援ナース活動終了後フォローアップ

会場/神奈川県看護協会第1研修室 時間/13:30～16:30 参加者数/16名

### 目的

- ・災害支援ナース活動の共有と今後の課題を明確にする
- ・支援活動終了後の支援ナースの心の負担を軽減する

### 内容

- ①本会災害支援ナース派遣調整報告
- ②グループワーク テーマ「災害支援活動の実際と今後の改善点」
- ③グループ発表、質疑応答
- ④まとめ

### 担当者から

災害支援ナースとしての活動が初めての方から3回目以上の方が集まり、活動中の困ったことや、限界を感じたことなどを発表していただきました。終了後のアンケートには、「もっと話したかった」「実際にあった事例を細かく検討したかった」などの意見がありましたので、今後の企画に反映していきたいと思っております。災害支援ナースの皆様、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。



「ご自身の体験を熱く語る「支援活動を終えて」執筆者の長瀬さん



▲参加した災害支援ナース

## 毎日をHAPPYにする 私のヒーリングタイム

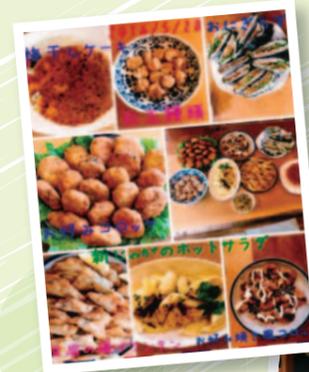
### ”クッキングでリフレッシュ!”

私は月に1～2回、料理に興味がある仲間と料理づくりをしています。

早くておいしいをモットーに主食、お惣菜からデザートまで2時間程度で料理を作り、そのあと食べながらおしゃべりをし、楽しい時間を過ごしています。

参加者は、職場の仲間をはじめ医療関係ではない人や専業主婦など、年齢も20代から70代と幅広く、たまに未就学のお子さんや小学生の参加もあります。

目的は料理を習いたい、あるいはおしゃべりをしたい、食べるのを楽しみたいといろいろです。人生の先輩の知恵やアドバイスを聞いたり、悩みを相談したり、また、時には職場の愚痴を聞いたりもしますが、いつも美味しいものを食べ笑顔になれます。



平塚市民病院  
看護師 深山 千鶴子

自慢の料理:  
上段左から右へ/梅干しケーキ、白玉饅頭、おにぎらず、中段左/お好みコロッケ、下段左から/豆腐の揚げワタ、新じゃがホットサラダ、お好み焼き風コロッケ

参加者の方々と料理を囲んでにぎやかに!  
(前列中央が深山さん)



平成28年度通常総会開催

“地域包括ケアシステムの構築と  
充実に向け連携を強化”

6月17日(金) 県総合医療会館 7階講堂  
参加者252名 委任状27,928名



挨拶する篠原会長

去る6月17日(金) 県総合医療会館7階講堂において、平成28年度通常総会が開催されました。

篠原会長挨拶の後、県看護協会会長表彰・授与式、続いて、看護研究奨励賞表彰・授与式が行われ、それぞれ14名と5名の方々表彰されました。

平成27年度事業報告、28年度重点事業及び事業計画、28年度資金収支予算及び収支予算の報告に続いて、第一号議案、平成27年度決算報告及び監査報告の審議が行われました。

第二号議案では、平成28年10月より運用開始となる日本看護協会の新「会員情報管理体制」への移行にあたり、定款、入会及び退会に関する規則の改正について、審議が行われました。会員からは、5月に看護協会が行った入会取りまとめに関するアンケート調査の結果と今後の動きについての質問があ

り、執行部より説明が行われました。

第三号議案では、理事の報酬等の総額の上限に関する審議が行われました。

いずれも賛否を囚った結果、賛成多数で原案通り可決されました。

第四号議案で平成28年度役員を選出が行われ、投票の結果、候補者8名全員が選出されました。臨時理事会を経て佐藤助産師職能理事、原横浜北支部理事、吉澤横浜西支部理事、杉浦横浜南支部理事、嘉山横須賀支部理事、加藤小田原支部理事、木村県央支部理事、森本監事が選定されました。また、同時に、29年度日本看護協会代議員の選挙も実施しました。

なお、平成28年度役員・委員の紹介は本誌P11に、平成27年度事業報告・決算報告はP12～23に掲載しておりますので、ご参照ください。

演奏会

プロムナードコンサート  
「オカリナのひととき」

オカリナ奏者 舞歌さんによる演奏会が行われました。「レット イット ゴー」や「小鳥」、映画 汚れなき悪戯より「マルセリーノの歌」など、計5曲が披露され、オカリナの透き通った音色が会場中に響き渡りました。

オカリナは、「OCA: ガチョウ」と「RINA: 小さい」を組み合わせたイタリア語で、小さなガチョウを意味するそうです。オカリナの形状がガチョウに似ていることに由来しています。

会場では、小鳥の鳴き声のような軽やかなオカリナの音にリズムをとったり、切ない曲調に涙ぐむ参加者の姿が見受けられました。充実した癒しのひとときを過ごすことができました。



オカリナを演奏する舞歌さん

講演会

「生きている」を見つめ  
「生きる」を考える

講師：JT生命誌研究館館長 中村 桂子氏  
理学博士である中村氏は、「生きもののしくみ」「ゲノムが語る生命―新しい知の創



講師の中村桂子氏

出」など多数の書物を執筆されています。そして、現在、さまざまな生き物たちの生きている様子を見つめ、そこから「どう生きるか」を探る新しい知：「生命誌」の研究をされています。中村氏は、蟻や蝶などの小さな生き物たちと日々過ごしながら遺伝子に含まれる壮大な年月に思いをはせているそうです。

今、存在している全ての生命は、元を辿ると38億年前に海に存在した一つの細胞に行き着くということ、38億年という気が遠くなるような長い年月を費やして「今」があるのだということ、「生まれてくる」ということを考える重要性について熱く語っていただきました。そして、さまざまな生き物の性質を残しながら進化していく絶妙な仕組みを知り、そこに存在することそのものが大事であることを知ってほしいとのことでした。生きているということをよく考えたらうたえて素晴らしいと思う気持ちを表現した言葉：「愛づる(めづる)」。中村氏が一番大事にしている言葉だそうです。さまざまな命のつながりの中に、今自分が存在する奇跡を感じ、「生きる」とは何かを改めて考える一日となりました。(広報出版委員会 井上美奈子)

平成28年度 役員紹介

(新)：新任、(再)：再任

 会長 篠原 弘子 神奈川県看護協会	 副会長 桃田 寿津代 横浜総合病院	 副会長 渡部 節子 横浜市立大学医学部看護学科	 専務理事 天野 三紀子 神奈川県看護協会	 常務理事 渡邊 二治子 神奈川県看護協会	 常務理事 高橋 ゆきえ 神奈川県看護協会	 保健師職能理事 堀 弘子 神奈川県厚木保健福祉事務所	 助産師職能理事(再) 佐藤 良枝 神奈川県立足柄上病院
 看護師職能理事Ⅰ 高橋 恵 聖マリアンナ医科大学	 看護師職能理事Ⅱ 鈴木 恵美子 横浜メディカルグループ本部	 准看護師理事 山野 浩子 大和成病院	 川崎支部理事 小林 信子 川崎市看護協会	 横浜北支部理事(新) 原 久美 平和病院	 横浜西支部理事(新) 吉澤 壽子 横浜保土ヶ谷中央病院	 横浜南支部理事(再) 杉浦 由美子 横浜市立大学附属病院	 横須賀支部理事(新) 嘉山 静子 三浦市立病院
 相模原支部理事 佐藤 美樹 相模野病院	 小田原支部理事(新) 加藤 節子 小田原市立病院	 湘南支部理事 大野 孝子 茅ヶ崎市立病院	 県央支部理事(新) 木村 みさ子 綾瀬厚生病院	 監事(再) 森本 新一 森本公認会計士事務所	 監事 秋山 みつえ 総合病院衣笠病院		

平成28年度 委員名簿

<b>職能委員会</b>	北清住中三	村水吉村好	結友由圭礼	花見美子	(保)(看)
<b>保健師職能委員会</b>	堀小鈴	弘康	子子	(保)(保)	
<b>社会経済福祉委員会</b>	藤池伊今	藤田井谷	康直淳	康直淳	(保)(看)
<b>看護師職能委員会</b>	高井石	理成	麻子	(看)(看)	
<b>助産師職能委員会</b>	佐藤小	藤井川	花口島	久寛	(助)(助)
<b>社会福祉委員会</b>	藤池伊今	藤田井谷	康直淳	康直淳	(保)(看)
<b>看護研究委員会</b>	高井石	理成	麻子	(看)(看)	
<b>看護師職能委員会Ⅰ</b>	高井石	理成	麻子	(看)(看)	
<b>看護師職能委員会Ⅱ</b>	高井石	理成	麻子	(看)(看)	
<b>推薦委員会</b>	横田大	石川大	川由美	(看)(助)(看)	
<b>財政会議</b>	天野島	近藤矢	野敏行	(看)(助)(看)	
<b>認定看護管理者教育運営会議</b>	長上野	大枝坪	波橋高	(看)(看)(保)(看)	
<b>緩和ケア認定看護師教育課程運営会議</b>	篠原日	野川天	渡高矢	(看)(看)(看)(看)	
<b>医療安全情報検討WG</b>	新大野	小見野	堀三	(看)(看)(助)(看)	
<b>川崎支部</b>	林山	信山	子子	(保)(看)(看)	
<b>小田原支部</b>	加池小	池田小	菅原三	(看)(保)(保)	
<b>横浜北支部</b>	原江大	川沼大	水野大	(看)(看)(看)	
<b>横浜西支部</b>	吉澤野	浅野野	岸野野	(看)(看)(看)	
<b>横浜南支部</b>	杉浦野	井野野	佐野野	(看)(看)(看)	
<b>県央支部</b>	木村野	植木野	大野野	(看)(看)(看)	



事業内容	実施内容	執行額
(2) 県・市合同総合防災訓練への参加及び開催支部との連携 (3) 県内関連施設との連携 (4) 横浜市災害看護研修 2) 災害支援ナースの派遣  3) 災害への備え・広報活動 (1) 災害看護対策委員会  (2) 災害看護研修の支援 ・災害看護マネジメント研修 ・災害看護実務編 災害支援ナース育成研修①② (3) 災害支援ナース登録推進  災害支援ナーススキルアップ研修 平成 27 年関東・東北豪雨災害 災害支援ナースフォローアップ研修 (4) 県民を対象とした災害時の知識の普及・啓発 リーフレット展示・デモンストレーション	訓練への参加 ・医療救護活動訓練への参加 合同総合防災訓練会議 年 1 回 ・県内関連施設との防災訓練 年 1 回 ・年 2 回 延 2 日 受講者 63 名 ・神奈川県及び(公社)日本看護協会の要請に基づき 災害支援ナース派遣 平成 27 年関東・東北豪雨災害 27 名 延 54 日  ・定例会 年 8 回 KANAGAWA 看護だより掲載 年 1 回  ・年 1 回 2 日 受講者 34 名 ・年 2 回 延 4 日 受講者 53 名 ・募集ポスター作成 年 1 回 2,000 部 登録手続き ・年 1 回 1 日 受講者 79 名  ・年 1 回 受講者 17 名 ・県・市合同防災訓練、看護フェスティバル等でリー フレット配布	

I-4 看護師等の資質向上を図るための研修等に関する事業（直接事業費 55,176 千円）

事業内容	実施内容	執行額
1 看護職の資質向上の支援 1) 継続教育の推進 (1) 看護実践力向上研修 ・看護共通分野の研修 ・看護専門分野の研修 ・態度、感性を磨く研修 (2) 看護安全力向上研修 (3) 看護管理・教育に関する研修 ・看護管理、教育に関する研修 (4) 小規模施設看護職のキャリア形成支援 I (5) 小規模施設看護職のキャリア形成支援 II (新) (6) 研修運営事業  (7) オープンセミナー  2) 新人看護職研修の充実 (1) がんばれ新人ナース研修 (2) 新人看護職員研修 (3) 指導者養成 ・実地指導者研修 I, II ・研修責任者研修 (4) 新人看護職員研修推進協議会・新人看護職員研修検討会 3) 中堅看護職員が役割を通して自ら成長していける研修 (1) 2 年目研修 (2) 3~5 年目研修 (3) 5 年目研修 4) 支部との連携研修 5) 職能委員会との連携研修(新) 6) 看護研究の充実 (1) 神奈川看護学会の開催  (2) 看護研究推進支援 7) 教育企画運営に向けての支援 (1) 教育研修委員会	・研修 32 本 延 48 日 受講者 3,090 名  ・研修 3 本 3 日 受講者 417 名 ・研修 5 本 9 日 受講者 416 名  ・研修 5 本 8 日 受講者 10 名 ・研修 4 本 7.5 日 受講者 5 名 ・「教育計画」タブロイド版作成 年 1 回 50,000 部 ・実施報告書作成 年 1 回 1,200 部 ・次年度教育計画・事業(案)説明会 受講者 94 名 ・病院等施設などで企画した研修を県下の看護職 に公開 197 研修 受講者 1,361 名  ・1 日 受講者 566 名 ・5 日 受講者 71 名  ・6 日 受講者 38 名、2 日 受講者 22 名 ・3 日 受講者 61 名 ・年 6 回  ・年 2 回 延 2 日 受講者 190 名 ・年 1 回 1 日 受講者 35 名 ・年 3 回 延 3 日 受講者 266 名 ・年 1 回 1 日 受講者 86 名(湘南支部) ・年 1 回 2 日 受講者 90 名(助産師職能)  ・年 1 回 12 月 5 日(土)開催 会場 パシフィコ横浜アネックスホール 参加者 759 名 学会集録作成 900 部 ・運営委員会 年 4 回 ・研究指導講師紹介 4 グループ  ・定例会 年 8 回 研修担当 年 7 日	29,629 千円

事業内容	実施内容	執行額
(2) 准看護師教育検討委員会  (3) 教育会議 2 看護職の活動の充実 1) 職能における研修等 (1) 保健師職能に関する研修等  (2) 助産師職能に関する研修等 内 1 回 2 日間協会との共催研修(新)  (3) 看護師職能 I に関する研修等  看護師職能 II に関する研修等  2) 支部における研修等 (1) 川崎支部  (2) 横浜第一支部  (3) 横浜第二支部  (4) 横須賀支部  (5) 相模原支部  (6) 小田原支部  (7) 湘南支部  (8) 県央支部  3) 看護職員の就業環境改善の促進 (1) 業務委員会 2025 年の超高齢社会に向けて高齢者の退院後の生 生活を視野に入れた退院調整の実践力の向上を目指 し、情報交換会・交流会を企画開催する。	日本看護協会主催会議・研修参加 延2日間 2名 教育研修委員の研修会 年1回 参加者 22 名 ・定例会 年 4 回 ・研修会 年 3 回 受講者 146 名 ・年 2 回  ・定例会 年 11 回 研修会 年 3 回 受講者 281 名 ・定例会 年 12 回 講演会 年 1 回 受講者 32 名 研修会 年 6 回 受講者 373 名 ・定例会 年 12 回 臨時 5 回 講演会 年 1 回 受講者 110 名 研修会 年 2 回 受講者 589 名 実態調査 ・定例会 年 11 回 講演会 年 1 回 受講者 59 名 研修会 年 2 回 受講者 369 名  ・定例会 年 8 回 講演会 年 1 回 受講者 83 名 研修会 年 3 回 受講者 107 名 ・定例会 年 12 回 講演会 年 1 回 受講者 81 名 研修会 年 3 回 受講者 165 名 ・定例会 年 12 回 講演会 年 1 回 受講者 40 名 研修会 年 2 回 受講者 115 名 研修会(県委託) 年 1 回 受講者 延 144 名 看護研究発表会 年 1 回 受講者 38 名 ・定例会 年 11 回 講演会 年 1 回 受講者 62 名 研修会 年 2 回 受講者 167 名 看護研究発表会 年 1 回 受講者 75 名 ・定例会 年 12 回 講演会 年 2 回 受講者 54 名 研修会 年 1 回 受講者 72 名 研修会(県委託) 年 1 回 受講者 延 113 名 看護研究発表会 年 1 回 受講者 96 名 支部合同研修会 年 1 回 受講者 149 名 ・定例会 年 12 回 講演会 年 1 回 受講者 79 名 研修会 年 2 回 受講者 153 名 研修会(県委託) 年 1 回 受講者 延 101 名 看護研究発表会 年 1 回 受講者 176 名 ・定例会 年 10 回 講演会 年 2 回 受講者 96 名 研修会 年 1 回 受講者 102 名 看護研究発表会 年 1 回 受講者 69 名 協会との共催研修 年 1 回 受講者 86 名 ・定例会 年 12 回 講演会 年 1 回 受講者 73 名 エキスパート活動 年 3 回 参加者 延 21 名 看護研究発表会 年 1 回 受講者 88 名 支部合同研修会 年 1 回 受講者 74 名  ・定例会 年 12 回 ・情報交換会・交流会の開催 年 2 回 受講者 延 135 名 ・学会発表(神奈川看護学会)	8,803 千円

事業内容	実施内容	執行額
(2)社会経済福祉委員会 ・健康で安全に働き続けられる労働環境についての学びの機会や情報を提供する。 ・ハラスメントについて学び、安心して働き続けられる職場環境作りに向けた取り組みをしていく。	・定例会 年 12 回  ・研修会 1 回 10 月 24 日 受講者 240 名	16,744 千円
3 地域看護の推進と拡充 1)地域看護の質向上と推進 (1)訪問看護の推進  (2)「訪問看護従事者相談」相談窓口の設置 訪問看護等に関する相談・助言 2)地域看護の質向上に関する研修 (1)地域看護における看護職員の育成 ・訪問看護導入・見学体験研修会 ・訪問看護師養成講習会 ・地域連携のための相互研修会(支部との連携研修) ・介護保険施設等看護研修Ⅰ(基礎レベル) ・委員会 (2)地域看護におけるリーダーの育成と専門性の確立 ・介護保険施設等看護研修Ⅱ(中堅レベル) ・小児訪問看護・重症心身障がい児者看護研修会 3)地域看護におけるトップマネージャーの育成 ・訪問看護ステーション管理者研修会 ・介護保険施設等看護研修Ⅲ(管理レベル)	・訪問看護ステーション一覧の作成 2,000 部 病院、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、行政等へ配布・ホームページへの掲載 ・週 1 回  ・年 7 回 2 日間 受講者 88 名 ・年 1 回 30 日間 受講者 82 名 ・年 3 回 各 3 日間 受講者 165 名 ・年 1 回 3 日間 受講者 122 名  ・年 1 回 3 日間 受講者 63 名 ・年 1 回 12 日間 受講者 54 名  ・年 1 回 1 日間 受講者 57 名 ・年 2 回 各 3 日間 受講者 135 名	

I-1、I-3、I-4 共通経費	154,763 千円
------------------	------------

I-5 看護師等の就業促進及び看護に関する進路相談事業(事業費 82,401 千円)

事業内容	実施内容	執行額
1 看護職員確保定着対策の推進 1)看護師等の無料職業紹介事業(本所、他 2 支所) (1)求人・求職者の登録・相談、紹介、情報提供 (2)第 5 次 NCCS のリニューアルへの対応と運用 (3)求人施設対象の説明会 (4)求職者の就職情報交換会(求職者交流会) (5)相談員の質の向上(相談員学習会) (6)求人施設訪問 2)離職看護師等登録促進及び支援事業 (10月1日より人確法改正に伴い離職看護師等届出制度へ移行する) (1)届出者のデータ管理 (2)届出者への情報提供 (2)職業紹介システムの活用・推進 3)広報活動及び情報提供事業 (1)代理届出対象となる施設への訪問 (2)「ナースセンターご案内」リーフレットの作成・配布 (3)看護学生・教員への周知 (4)年報の発行 (5)医療・看護・介護に関するビデオ・DVD の貸出(館内・館外) (6)地域の病院等で開催する「復職支援研修」の広報への協力 (7)ナースセンターホームページの活用 4)関係機関との連携・会議 (1)中央・都道府県ナースセンターとの連携 (2)横浜公共職業安定所との連携 ・求人票及び職種別賃金等の情報交換 ・就職相談会等への相談員派遣協力 (3)社会福祉協議会 福祉人材センターとの連携 ・福祉施設等就職相談会等への協力・後援 (4)会議	・通年 求人・求職就業等の相談件数 年 12,647 件 就職数 年 400 件 ・1 回/年 参加者 98 名 ・1 回/年 参加者 9 名 ・3 回/年 ・10 件 ・通年 離職情報の登録及び届出受理、リーフレット・チラシ配布、就職情報の提供、就業コーディネート、相談 ・届出数:753 件 ・e ナースセンター登録者 372 人  ・通年(随時) 病院及び行政 ・発行部数:3,000 部、県内病院等へ 2154 部配布 ・看護学校訪問:7 校 ・200 部 配布先 行政機関等 80 箇所 7 月 1 回/年 ・利用件数 年 62 件 ・協力病院:23 施設(ホームページ掲載及び施設ホームページとのリンク、研修案内配布等) ・通年  ・通年/随時 会議 1 回/年 ・1 回/月 ・随時 ・通年 ・福祉施設等就職相談会への派遣 登録求職者への研修案内配布協力	76,866 千円

事業内容	実施内容	執行額
・看護職員確保対策連絡協議会 ・ナースセンター事業運営委員会 ・ナースセンター連絡会議 ・都道府県ナースセンター事業担当者会議 ・都道府県ナースセンター相談員研修  5)看護職員確保定着に関する調査事業  6)看護職員の定着を図るための相談事業 就業相談の実施(対象就業者) 7)未就業看護師等への「復職支援研修」事業 未就業看護師等研修会の開催 8)潜在看護職員活用推進事業  9)看護職員職場環境整備支援事業 2 看護に関する普及啓発事業の充実 1)進路相談事業 ・進路相談の実施 2)看護フェスティバル開催への協働 「一日看護体験」実施施設との調整 3)看護の仕事の普及啓発 若年層を対象とした看護の仕事の普及啓発	・1 回/年 10 月 ・1 回/年 10 月 ・2 回/年 4 月・11 月 ・1 回/年 8 月 ・1 回/年 9 月 ・1 月 テーマ:届出登録を行った看護職の意識調査 ・通年(随時)  ・3 回/年 受講者:124 名程度 就業者数:20 名 ・ポスター掲示、リーフレット配布、 出前就業相談会の開催:10 回以上 参加者数:42 名 就職者数:15 名 ・看護管理者の相談窓口の開設 3 日/週  ・進路相談件数 年 137 件 ・案内期間 5 月 1 日~8 月 31 日 ・看護フェスティバルでの相談:16 件 ・リーフレットの配布「看護の仕事」 ガイドブック 3,000 部作成 県内高等学校及び病院等へ 2002 部配布 ・高校訪問 4 校	2,789 千円
	共通経費	2,746 千円

II-1 会員支援事業(事業費 86,939 千円)

事業内容	実施内容	執行額
1 会員に対する支援事業等 1 1)委員会及び支部における情報提供等 (1)保健師職能委員会  (2)助産師職能委員会  (3)看護師職能委員会Ⅰ 看護師職能委員会Ⅱ (4)川崎支部  (5)横浜第一支部  (6)横浜第二支部  (7)横須賀支部  (8)相模原支部  (9)小田原支部  (10)湘南支部	・職能集会 年 1 回 「職能だより」の発行 年 1 回 1,000 部 配布先 病院・市町村等施設 ・職能集会 年 1 回 「職能だより」の発行 年 1 回 1,500 部 配布先 病院等施設 ・職能集会 年 1 回 ・職能集会 年 1 回 ・支部大会 年 1 回 「支部だより」の発行 (川崎市看護協会ニュースへ掲載) 年 4 回 計 20,500 部 配布先 病院等施設、関係団体等 ・支部大会 年 1 回 「支部だより」の発行 年 1 回 計 8,000 部 配布先 病院等施設、関係団体等 ・支部大会 年 1 回 「支部だより」の発行 年 1 回 計 5,500 部 配布先 病院等施設 ・支部大会 年 1 回 「支部だより」の発行 年 1 回 計 2,900 部 配布先 病院等施設 ・支部大会 年 1 回 「支部だより」の発行 年 1 回 計 3,200 部 配布先 病院等施設、関係団体等 ・支部大会 年 1 回 「支部だより」の発行 年 1 回 計 3,800 部 配布先 病院等施設、関係団体等 ・支部大会 年 1 回 「支部だより」の発行 年 1 回 計 3,300 部 配布先 病院等施設	10,965 千円

事業内容	実施内容	執行額
(11) 県央支部  2) 会員支援に関する事業 (1) 「看護職賠償責任保険制度」加入の推進 (2) 会員の進学支援 (3) 表彰 (4) 神奈川県看護協会指定店事業 (5) 会員の慶弔等への対応 (6) 会員相互の親睦を深める機会の充実 ・新春のつどい  ・会員交流会  (7) お年玉プレゼント（広報出版委員会） (8) 会員サポート事業  2 会員に対する支援事業等 2 1) 看護管理者に対する研修支援事業 2) 看護管理者及びスペシャリストのための学習支援 (1) 認定看護管理者教育課程事業 ・認定看護管理者教育運営会議 ・ファーストレベル  ・セカンドレベル  ・セカンドレベルフォローアップ研修 (2) 認定看護師教育課程事業 ・緩和ケア認定看護師教育課程  ・公開講義 ・緩和ケア認定看護師教育課程運営会議 ・緩和ケア認定看護師フォローアップ研修 (3) 看護管理者研修事業 2 ・看護管理Ⅰ、Ⅱ研修 ・医療安全管理者養成研修 ・重症度、医療・看護必要度評価者 院内指導者研修（衛星通信配信）	・支部大会 年1回 「支部だより」の発行 年1回 計2,200部 配布先 病院等施設  ・新規加入者数 8,865名 ・大学等への進学の推薦 ・各表彰への推薦 ・約300店舗 ・弔慰金支給、傷病見舞金支給  ・平成28年1月28日(木) 横浜ロイヤルパークホテル参加者370名 ・平成27年10月25日(日)参加者85名 対象60歳以上の会員(平成28年3月末現在) ・当選者46名  ・メンタルヘルス研修 1回 受講者105名  ・定例会 年3回 ・研修期間 平成27年4月28日～9月4日 受講者72名 ・研修期間 平成27年10月1日～ 平成28年3月4日 受講者45名 ・受講者67名 年1回  ・研修期間 平成27年4月8日～ 平成28年3月16日 受講者27名 ・受講者延228名(全5回) ・定例会 年2回 ・受講193名×2回 受講者51名×1回  ・研修4本 延8日 受講者369名 ・7日間 受講者83名 ・年2回 受講者379名	21,625千円
	共通経費	54,349千円

## II-2 法人管理事業（管理費 85,608千円）

事業内容	実施内容	執行額
1 職能団体としての組織・運営強化 1) 諸会議の開催 (1) 通常総会（決算） (2) 理事会 (3) 事業説明会 (4) 財政会議 (5) 新聞への広告掲載 2) (公社) 日本看護協会との連携 (1) 総会参加 (2) 全国職能別集会参加 3) 新公益法人に関する業務等 4) 事務局機能の整備・充実 (1) 事務局情報・通信システムの運用・管理 (2) 役職員の資質向上のための研修実施及び学会参加 5) 委員会 (1) 推薦委員会 ・平成28年度役員推薦・選出	・平成27年6月19日(金) ・定例5回、臨時1回 ・年1回 ・年1回 ・年2回 ・平成27年6月9日(火)～10日(水) 開催地：兵庫県神戸国際展示場 ・平成27年6月11日(木) ・ホームページ、KANAGAWA看護だより等の活用  ・研修事務局、訪問看護ステーション 年各1回 ・学会参加 年6回 ・定例会 年4回	20,632千円

事業内容	実施内容	執行額
(2) 会員委員会 会員増への取り組み  (3) 倫理審査会 2 政策への提言及び県・関係団体・看護学校等との連携促進 1) 国、神奈川県、関係団体への要望 医療制度、看護教育制度、診療報酬、看護職員の 働く環境、看護提供体制の改善・充実等 2) 神奈川県との連携 3) 県内医療関係団体等との連携・交流の推進	・定例会 年7回 ・施設見学 年1回 参加者40名 ・入会案内リーフレット 配布先 病院等施設、看護学校等 ・看護協会活動PR・入会案内ダイレクトメール発送 ・年1回  ・年4回	
	共通経費	64,976千円

## 貸借対照表

平成28年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	657,240,441	645,287,711	11,952,730
未収金	84,169,669	82,360,210	1,809,459
前払金	4,249,908	5,129,795	△ 879,887
流動資産合計	745,660,018	732,777,716	12,882,302
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	102,800,773	102,800,773	0
建物	452,834,855	465,374,282	△ 12,539,427
基本財産合計	555,635,628	568,175,055	△ 12,539,427
(2) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	7,145,800	1,144,332	6,001,468
退職給付引当資産	62,567,230	63,135,135	△ 567,905
資産取得積立資産	645,436,862	624,502,439	20,934,423
建物建替積立資産	232,494,142	219,668,004	12,826,138
特定資産合計	947,644,034	908,449,910	39,194,124
(3) その他固定資産			
車両運搬具	4	4	0
什器備品	11,726	405,071	△ 393,345
敷金	23,136,500	23,136,500	0
保証金	2,322,000	2,322,000	0
その他固定資産合計	25,470,230	25,863,575	△ 393,345
固定資産合計	1,528,749,892	1,502,488,540	26,261,352
資産合計	2,274,409,910	2,235,266,256	39,143,654
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	18,756,253	14,060,441	4,695,812
前受金	229,295,400	228,136,280	1,159,120
預り金	12,208,810	10,803,548	1,405,262
役員賞与引当金	976,000	976,000	0
賞与引当金	11,030,000	10,297,000	733,000
流動負債合計	272,266,463	264,273,269	7,993,194
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	7,145,800	1,144,332	6,001,468
退職給付引当金	62,567,230	63,135,135	△ 567,905
固定負債合計	69,713,030	64,279,467	5,433,563
負債合計	341,979,493	328,552,736	13,426,757
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	1,932,430,417	1,906,713,520	25,716,897
(うち特定資産への充当額)	555,635,628	568,175,055	△ 12,539,427
	865,104,866	844,170,443	20,934,423
正味財産合計	1,932,430,417	1,906,713,520	25,716,897
負債及び正味財産合計	2,274,409,910	2,235,266,256	39,143,654

# 正味財産増減計算書

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	1,265,372	1,226,008	39,364
特定資産受取利息	1,265,372	1,226,008	39,364
受取入会金	73,866,000	75,420,000	△ 1,554,000
受取入会金	73,866,000	75,420,000	△ 1,554,000
受取年会費	212,259,000	206,631,000	5,628,000
受取会費	212,259,000	206,631,000	5,628,000
事業収益	422,150,460	386,710,935	35,439,525
受講料等収益	68,458,110	63,402,950	5,055,160
受託事業資料代収益	7,450,000	5,743,000	1,707,000
参加費収益	5,856,000	3,313,000	2,543,000
訪問看護事業収益	330,012,945	304,565,603	25,447,342
療養費収益	110,599,760	101,628,204	8,971,556
介護保険収益	215,051,205	198,832,820	16,218,385
その他利用収益	4,361,980	4,104,579	257,401
居宅介護支援事業収益	10,373,405	9,686,382	687,023
受取補助金等	115,539,047	119,155,338	△ 3,616,291
受取神奈川県補助金等収益	97,429,033	80,795,396	16,633,637
ナースセンター事業受託収入	39,696,000	39,410,000	286,000
看護研修事業受託収入	604,000	604,000	0
訪問看護導入研修受託収入	1,380,000	0	1,380,000
訪問看護ステーション・医療機関相互研修受託収入	1,402,999	1,402,999	0
地域自殺対策緊急強化事業受託収入	0	100,000	△ 100,000
重症心身障害児看護研修事業受託収入	841,000	1,666,000	△ 825,000
新人看護職員研修体制整備事業受託収入	4,591,000	4,591,000	0
潜在看護職員活用推進事業受託収入	5,826,000	5,826,000	0
看護職員職場環境整備支援事業受託収入	5,788,000	4,590,000	1,198,000
介護施設等看護実務者研修事業受託収入	1,531,000	1,531,000	0
看護師等離職防止研修事業受託収入	1,365,000	1,365,000	0
緩和ケア認定看護師養成事業受託収入	2,090,000	0	2,090,000
看護専任教員養成・確保支援事業受託収入	4,014,000	0	4,014,000
看護実践教育アドバイザー事業受託収入	27,098,034	19,709,397	7,388,637
看護師管理能力養成研修事業受託収入	735,000	0	735,000
重度重複障害者等支援看護師養成研修事業受託収入	467,000	0	467,000
受取横浜市補助金等収益	2,990,000	2,453,280	536,720
訪問看護師研修会事業受託収入	1,100,000	600,000	500,000
小児訪問看護・重症心身障害児者看護研修会事業受託収入	1,554,000	1,553,040	960
災害支援ナース研修事業受託収入	336,000	300,240	35,760
受取川崎市補助金等収益	556,000	0	556,000
重症心身障害児者看護研修事業受託収入	556,000	0	556,000
受取相模原市補助金等収益	1,041,434	1,053,255	△ 11,821
ナースセンター事業受取補助金	1,041,434	1,053,255	△ 11,821
受取日本看護協会補助金等収益	12,658,580	30,843,407	△ 18,184,827
教育事業及び看護の普及啓発事業助成金	10,015,560	9,956,550	59,010
会員登録受託収益	2,543,020	2,488,225	54,795
学術集会助成金	0	18,398,632	△ 18,398,632
助産実践能力強化支援事業受託収益	100,000	0	100,000
受取団体助成金等収益	864,000	4,010,000	△ 3,146,000
団体助成金収入	864,000	4,010,000	△ 3,146,000
受取寄付金	4,730,000	4,600,000	130,000
受取寄付金	1,010,000	1,000,000	10,000
協賛金収益	3,720,000	3,600,000	120,000
かながわ看護フェスティバル	3,720,000	3,600,000	120,000
雑収益	2,198,393	1,910,099	288,294
受取利息	128,238	132,890	△ 4,652
その他の雑収益	2,070,155	1,777,209	292,946
経常収益計	832,008,272	795,653,380	36,354,892
(2) 経常費用			
事業費	720,683,188	701,496,891	19,186,297
役員報酬	14,877,789	8,970,836	5,906,953
給料手当	375,652,330	368,688,004	6,964,326
臨時雇賃金	19,682,706	11,919,096	7,763,610
役員賞与引当金繰入額	497,000	497,000	0
賞与引当金繰入額	10,287,000	9,521,000	766,000
役員退職慰労引当金繰入額	2,953,468	0	2,953,468

科 目	当年度	前年度	増 減
退職給付費用	11,402,641	9,433,424	1,969,217
法定福利費	55,361,428	54,133,584	1,227,844
福利厚生費	7,371,174	7,386,978	△ 15,804
会議費	747,363	991,825	△ 244,462
旅費交通費	8,630,704	11,247,066	△ 2,616,362
広告宣伝費	4,098,350	2,595,370	1,502,980
通信運搬費	12,634,997	12,326,781	308,216
減価償却費	11,162,937	11,286,506	△ 123,569
消耗什器備品費	1,122,923	1,383,646	△ 260,723
消耗品費	14,132,519	15,125,959	△ 993,440
修繕費	786,407	1,215,440	△ 429,033
印刷製本費	26,130,937	24,202,009	1,928,928
燃料費	1,648,947	2,030,727	△ 381,780
光熱水料費	2,804,053	2,955,048	△ 150,995
賃借料	43,672,792	50,832,496	△ 7,159,704
支払リース料	17,044,650	15,808,307	1,236,343
保険料	2,394,690	2,006,330	388,360
諸謝金	38,334,043	37,274,297	1,059,746
租税公課	7,331,720	5,210,225	2,121,495
支払手数料	1,581,445	1,801,837	△ 220,392
支払負担金	15,064,343	14,544,742	519,601
委託費	12,309,940	17,623,879	△ 5,313,939
雑費	963,892	484,479	479,413
管理費	85,608,186	70,949,024	14,659,162
役員報酬	14,235,309	11,676,874	2,558,435
給料手当	28,662,196	21,290,031	7,372,165
役員賞与引当金繰入額	479,000	479,000	0
賞与引当金繰入額	743,000	776,000	△ 33,000
役員退職慰労引当金繰入額	3,208,000	0	3,208,000
退職給付費用	576,432	408,288	168,144
法定福利費	6,629,737	5,667,011	962,726
福利厚生費	2,637,383	2,608,632	28,751
会議費	176,052	179,983	△ 3,931
旅費交通費	1,390,340	1,363,966	26,374
広告宣伝費	108,000	972,000	△ 864,000
通信運搬費	3,726,689	4,178,219	△ 451,530
減価償却費	1,769,834	1,799,912	△ 30,078
消耗什器備品費	264,600	991,980	△ 727,380
消耗品費	3,558,134	2,331,788	1,226,346
修繕費	0	100,001	△ 100,001
印刷製本費	1,787,465	2,213,680	△ 426,215
賃借料	42,660	60,600	△ 17,940
支払リース料	1,352,880	1,157,179	195,701
保険料	257,360	238,320	19,040
諸謝金	1,432,838	4,119,524	△ 2,686,686
渉外費	35,000	0	35,000
租税公課	5,345,140	163,375	5,181,765
支払手数料	931,308	843,387	87,921
支払負担金	5,030,293	5,591,847	△ 561,554
支払助成金	105,000	155,000	△ 50,000
委託費	904,336	1,353,247	△ 448,911
雑費	219,200	229,180	△ 9,980
経常費用計	806,291,374	772,445,915	33,845,459
評価損益等調整前当期経常増減額	25,716,898	23,207,465	2,509,433
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	25,716,898	23,207,465	2,509,433
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	1	470,694	△ 470,693
経常外費用計	1	470,694	△ 470,693
当期経常外増減額	△ 1	△ 470,694	470,693
当期一般正味財産増減額	25,716,897	22,736,771	2,980,126
一般正味財産期首残高	1,906,713,520	1,883,976,749	22,736,771
一般正味財産期末残高	1,932,430,417	1,906,713,520	25,716,897
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	1,932,430,417	1,906,713,520	25,716,897

# 財産目録

平成28年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	780,292
普通預金			350,877,655
共通・会費横浜大口	横浜銀行大口支店	運転資金として	41,282,893
共通・ゆうちょ銀行	ゆうちょ銀行	運転資金として	117,130,000
公益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	10,956,841
公益・受講料	横浜銀行関内支店	運転資金として	693,028
公益・三井住友	三井住友銀行横浜中央支店	運転資金として	36,133
公益・横浜フェスティバル	横浜銀行県庁支店	運転資金として	480,000
収益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	1,816,955
収益・藤沢	横浜銀行県庁支店	運転資金として	610,759
収益・三菱東京	三菱東京UFJ銀行横浜中央支店	運転資金として	10,046,678
収益・ゆうちょ銀行	ゆうちょ銀行	運転資金として	22,047,400
法人・横浜関内	横浜銀行関内支店	運転資金として	113,847,780
法人・医師信組	神奈川県医師信用組合本店	運転資金として	112,812
かがやきST	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	4,929,376
かがやき小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	427,318
かがやき居宅	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	4,063,747
あかしあST	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	5,205,661
あかしあ小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	285,476
おおいそST	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	6,965,613
おおいそ小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	367,668
おおいそ居宅	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	3,651,144
洋光台ST	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	5,794,744
洋光台小口	横浜銀行伊勢佐木町支店	運転資金として	125,629
定期預金			305,582,494
公益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	91,872,482
収益・横浜県庁	横浜銀行県庁支店	運転資金として	26,091,913
収益・三菱東京	三菱東京UFJ銀行横浜中央支店	運転資金として	50,666,485
法人・横浜関内	横浜銀行関内支店	運転資金として	122,812,214
法人・医師信組	神奈川県医師信用組合本店	運転資金として	14,139,400
未収金		訪問療養費、県・市委託金等	84,169,669
前払金		家賃・駐車場代・会場使用料等	4,249,908
流動資産合計			745,660,018
(固定資産)			
基本財産			555,635,628
土地	横浜市中区富士見町3番地1 (地積246.57㎡) (地積158.29㎡)  (地積52.77㎡) (地積35.51㎡)	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している(70,110,127円) 収益事業等の用に供している(17,887,334円) 管理運営の用に供している(14,803,312円)	102,800,773
建物			452,834,855
建物(一般)	神奈川県総合医療会館 (5階一部・6階)	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している(288,450,408円) 収益事業等の用に供している(96,150,136円) 管理運営の用に供している(64,699,157円)	449,299,701
建物附属設備	キャリア支援研修センター藤沢	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	3,535,154
特定資産			
役員退職慰労引当資産	横浜銀行県庁支店	役員に対する退職金の支払いに備えたもの	7,145,800

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
その他固定資産	退職給付引当資産	神奈川県債 横浜銀行県庁支店	職員に対する退職金の支払いに備えたもの 50,000,000 12,567,230	
	資産取得積立資産	神奈川県債 横浜銀行県庁支店	研修センター取得に備えたもの (公益目的資産取得資金) 549,998,000 (公益目的資産取得資金) 95,438,862	
	建物建替積立資産	神奈川県債、横浜銀行県庁支店	総合医療会館建替えに備えたもの 公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している(149,557,781円) 収益事業等の用に供している(49,576,280円) 管理運営の用に供している(33,360,081円)	
	車両運搬具	訪問看護ステーション	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	
	什器備品	訪問看護ステーション・事務所付帯設備一式	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している(1,716円) 管理運営の用に供している(10,010円)	
	敷金	キャリア支援研修センター藤沢他	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	
	保証金	訪問看護ステーション	公益目的保有財産であり公益目的事業の用に供している	
	固定資産合計			1,528,749,892
	資産合計			2,274,409,910
	(流動負債)			
未払金		公益目的事業会計 収益事業等会計 法人会計	18,756,253	
前受金			229,295,400	
次年度会費	平成28年度会費	公益目的事業・管理運営の支出に供する会費の前受	206,768,000	
緩和受講料	平成28年度緩和ケア受講料	収益事業等に計上する受講料の前受	13,750,000	
その他	平成28年度ファーストレベル受講料 平成28年度フェスティバル協賛金	収益事業等に計上する受講料の前受 公益目的事業に計上する協賛金の前受	8,297,400 480,000	
預り金			12,208,810	
健康保険	平成28年3月分		3,356,148	
厚生年金	〃		5,324,871	
源泉所得税	〃		952,556	
住民税	〃		1,436,300	
報償費等所得税	平成28年3月講師報償税		244,922	
居宅介護収入	未収分		872,433	
その他	平成28年3月日看協会議出席交通費等		21,580	
役員賞与引当金			976,000	
事業費	平成27年度負担額		497,000	
管理費	〃		479,000	
賞与引当金			11,030,000	
事業費	平成27年度負担額		10,287,000	
管理費	〃		743,000	
流動負債合計			272,266,463	
(固定負債)				
役員退職慰労引当金	期末退職給付要支給額		7,145,800	
退職給付引当金	〃		62,567,230	
固定負債合計			69,713,030	
負債合計			341,979,493	
正味財産			1,932,430,417	



こんにちは**事務局**です

TEL. 045-263-2901 FAX. 045-263-2905

## 平成28年度教育研修D群申し込み受付

申込受付期間／11月1日(火)～7日(月)消印有効  
 ※10月1日(土)までに神奈川県看護協会の入会手続きが完了している方は、D群を会員料金で受講できます。  
 ※詳細は「平成28年度教育計画」、または別途施設あてに送付する「D群日程表」をご確認ください。  
 問合せ／研修課 教育研修班 ☎045-263-2926

## 社会経済福祉委員会研修案内

日時／平成29年2月4日(土)  
 場所／県看護協会第1研修室(総合医療会館6階)  
 内容／「ハラスメント相談対応研修」  
 講師／株式会社ハートセラピー  
 代表取締役 柳原里枝子氏  
 (各省庁相談員育成担当講師)  
 対象／管理職および管理に準ずる役割を担う看護職  
 定員60名  
 参加費／1,000円(会員無料)  
 問合せ／総務課 総務班 水村 ☎045-263-2914

## 2017年度フェリス女学院大学 国際交流学部 3年次編入学制度特別選抜(推薦制度)

出願期間／11月10日(木)～11月17日(木)  
 試験日／12月3日(土)  
 ※ご希望の方には大学の事前面談があります。  
 ※協会の会員で推薦を希望する方は、11月2日(水)までに県看護協会へお申し込みください。  
 問合せ／総務課企画・会員班 坂本  
 ☎045-263-2918

表紙の  
写真



## 地域に根差した 訪問看護ステーション

——公益社団法人神奈川県看護協会  
(かがやき・あかしあ・おおいそ・洋光台)  
訪問看護ステーション

神奈川県看護協会は、県内4カ所(藤沢・茅ヶ崎・大磯・洋光台)に訪問看護ステーションを有します。「生命・自律・情熱」看護協会の理念のもと、病気や障がいがあっても安心して住み慣れた地域で暮らせるよう地域連携と多職種協働に主眼をおいた活動をしています。訪問看護に関心はあっても一人での訪問に不安がある人も多いと思います。当協会では、「訪問看護師育成」方針や「訪問看護ケア手順書」を作成し、職員一人ひとりをサポートした教育に力を入れています。また、ワークライフバランスを考え、短時間雇用等の職場環境作りにも取り組んでいます。

現在2名の緩和ケア認定看護師が活動しており、より質の高い看護が提供できる訪問看護ステーションを目指しています。

公益社団法人神奈川県看護協会 地域看護課  
地域看護班長 望月 洋子

## 平成28年度入会・継続手続き受付中!

※28年度会員の方に、8月より新会員証及び29年度申請書を順次お送りしています。ご不明な点などございましたら下記問合せ迄ご連絡をお願いします。  
 ※29年度の入会よりナースシップの導入により、申込み方法が変わりますが、28年度は従来通りです。  
 ※賠償責任保険の更新日は11月1日ですので、28年度入会手続きがお済でない方はお急ぎください  
 問合せ／総務課 企画・会員班 ☎045-263-2918

## 看護師職能委員会Ⅱ研修会

日時／11月12日(土) 14時～16時  
 場所／神奈川県ナースセンター研修室  
 テーマ／利用者中心の保健医療福祉連携～IPW(インタープロフェッショナルワーク)を知る～  
 講師／神奈川県立保健福祉大学 教授 織井優貴子氏

## 介護保険施設等看護研修Ⅲ

日程／平成29年1月の3日間  
 時間／9時30分～16時30分  
 会場／県ナースセンター研修室、県看護協会研修室  
 内容／施設看護管理者に必要な対人援助力、エンド・オブ・ライフ・ケアを意識した看取りケア体制の構築、施設におけるセーフティマネジメント等  
 受講料／3日間で4,500円

## 訪問看護見学体験研修

講義や実習を通して訪問看護の基礎を学びます。訪問看護に関心のある方は、ぜひご参加ください。  
 (横浜地区)  
 会場／神奈川県看護協会  
 日程／11月8日・15日  
 締切／10月6日  
 受講料／無料  
 (川崎地区)  
 会場／川崎市ナーシングセンター研修室  
 日程／12月6日・14日  
 締切／11月2日  
 受講料／2,000円

## 地域連携のための相互研修会

日程／講義 平成29年1月12日・2月7日 10時～16時30分  
 実習 平成29年1月16日～2月3日のうち1日間  
 会場／川崎市ナーシングセンター研修室  
 締切／11月11日必着  
 対象／医療機関、訪問看護ステーション、介護保険施設等に勤務する看護職40名  
 資料代／2,000円  
 詳細は地域看護課までお問い合わせください。  
 問合せ／地域看護課 ☎045-263-2933

## 編集後記

ここ数年、暑さが厳しく感じます。夏の疲れは残っていませんか?夏野菜には水分やカリウムを豊富に含んでいるものが多く、からだにこもった熱をクールダウンしてくれるそうです。トマトやキュウリなど手軽に食べられる野菜を食べて、夏の疲れを吹き飛ばしましょう!看護だよりも旬の話題を提供できるよう頑張ります!(K.J)